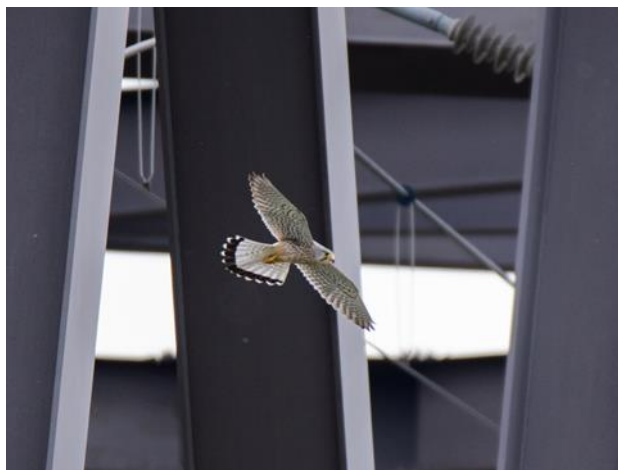


2022年 営巣状況

2022年の十三崖は、一昨年、昨年に引き続き、チョウゲンボウの営巣はありませんでした。3年連続営巣なしは、2005年に観察を開始してから初めてです。また、文献からそれ以前の十三崖の営巣数の記録を調べてみましたが、3年連続で営巣がなかったことはありませんでした。

十三崖近辺では、若干の個体が確認されたのみです。しかし、周辺の繁殖地での営巣数は昨年と同じでしたが、5か所以上の繁殖地で非繁殖個体を確認しました。それらの個体は単独の場合もありましたが、つがいの場合もありました。交尾まで行いながら、繁殖に至らなかったつがいも複数ありました。また建造物での集団繁殖では、近くにハヤブサがいるにも関わらず少なくとも10羽以上の雌雄が入り乱れて飛来し、最終的には6つがいが営巣し、繁殖に参加できなかった個体も複数確認しました。今年の十三崖周辺の繁殖地の営巣状況から、北信地方のチョウゲンボウの個体数は増加傾向にあると考えられました。



営巣地を飛翔するオス若鳥